

スペースクリン

取扱説明書

取扱編・工事編

TM-38R



オゾン発生中入室禁止

お買い上げまことにありがとうございます。

使用時には、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

なお、この取扱説明書は大切に保管しておいてください。

目

次

〔Ⅰ〕 取扱編

- 特に注意していただきたいこと。——1～4ページ
安全のために必ずお守りください。
- 名称・各部のなまえ——5ページ
- 使用前の準備——6ページ
- 使用方法・使い方——7～8ページ
- 日常の点検・手入れ——9～10ページ
- 定期点検——10ページ
- 故障・異常の見分け方と処置方法——11ページ
- 部品の交換のしかた——12ページ
- 仕様——13～14ページ
- 据付け——15ページ

〔Ⅱ〕 工事編

- 特に注意していただきたいこと。——17ページ
安全のために必ずお守りください。
- 開 梱——18ページ
- 据 付 け——19～20ページ
- 電気配線——21ページ
- 保証とアフターサービス——22ページ

はじめに

この取扱説明書は、紫外線(UV)およびオゾン(O₃)による空気除菌装置 TM-38R の取扱説明書です。

〔Ⅰ〕取扱編では取扱方法を、〔Ⅱ〕工事編では設置工事方法を説明しています。設置工事完了後は、〔Ⅰ〕取扱編に記載の「据付け工事後の確認」、および「試運転」(15ページ参照)を確実に実施してからご使用ください。

〔Ⅰ〕取扱編をよくお読みいただきご理解の上、お使いください。

取扱中に少しでも不確かなことが生じましたら、本書により確かめて正しい方法でご使用ください。

設置工事には電気に関する専門知識が必要になりますので、移設等設置工事を行う必要がある場合、お買い上げまたはお引渡しの販売店にご相談ください。

機器の用途



日本国外では機器をご使用にならないでください。

日本国内においてのみご使用ください。

〔 I 〕 取扱編

■特に注意していただきたいこと。安全のために必ずお守りください。

ご使用の前にこの『特に注意していただきたいこと。安全のために必ずお守りください。』をよくお読みの上、正しくお使いください。

ここに示した事項は、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を『 警告』、『 注意』の2つに区分して示しています。

安全の確保のために大切な事項ですので、必ずお守りください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。




注意


この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例




 記号は注意(警告を含む)を促す内容であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意書が描かれています。



 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解や修理・改造の禁止)が描かれています。

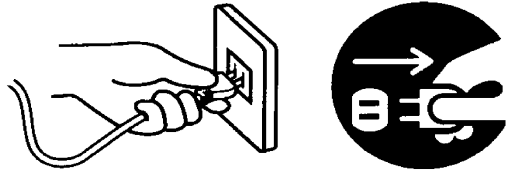


 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

警告

感電危険

ランプケースの蓋を開ける時や点検・手入れの際には必ず運転スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、濡れた手で抜き差ししないてください。感電やけがのおそれがあります。



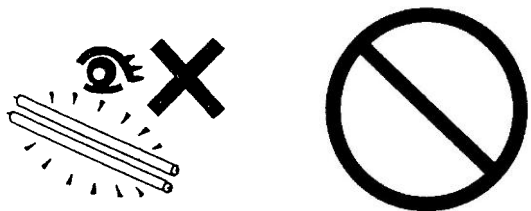
オゾン(O₃)発生中入室禁止

オゾン(O₃)ランプ点灯の際は、必ず室内に人がいないことを確認してから点灯させ、オゾン(O₃)ランプ点灯中、および消灯後2時間以内は換気処置をしないままでの入室はしないでください。オゾン(O₃)は、人体に有害で健康に影響を及ぼすおそれがあります。



点灯ランプ直視危険

点灯中の紫外線(UV)ランプ、オゾン(O₃)ランプを直視しないでください。目を痛めます。



⚠ 注 意

感電に注意

機器の蓋は操作担当者以外は
開けないでください。
感電やけがのおそれがあります。



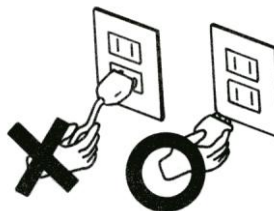
高温部に注意

紫外線(UV)ランプおよびオゾン(O₃)ランプの取替えは、
消灯直後は高温になっているため冷えてから行ってくだ
さい。
やけどやけがのおそれがあります。



電源の注意

- 電源プラグをコンセントから抜く時
は、電源がショートして発火するこ
とがあります。
コードを持たず、必ず先端の電源プ
ラグを持って引き抜いてください。



- 電源コードや電源プラグが傷んだり、
コンセントの差込みプラグがゆるい
時は使用しないでください。
感電やショートして発火することが
あります。



クラ...



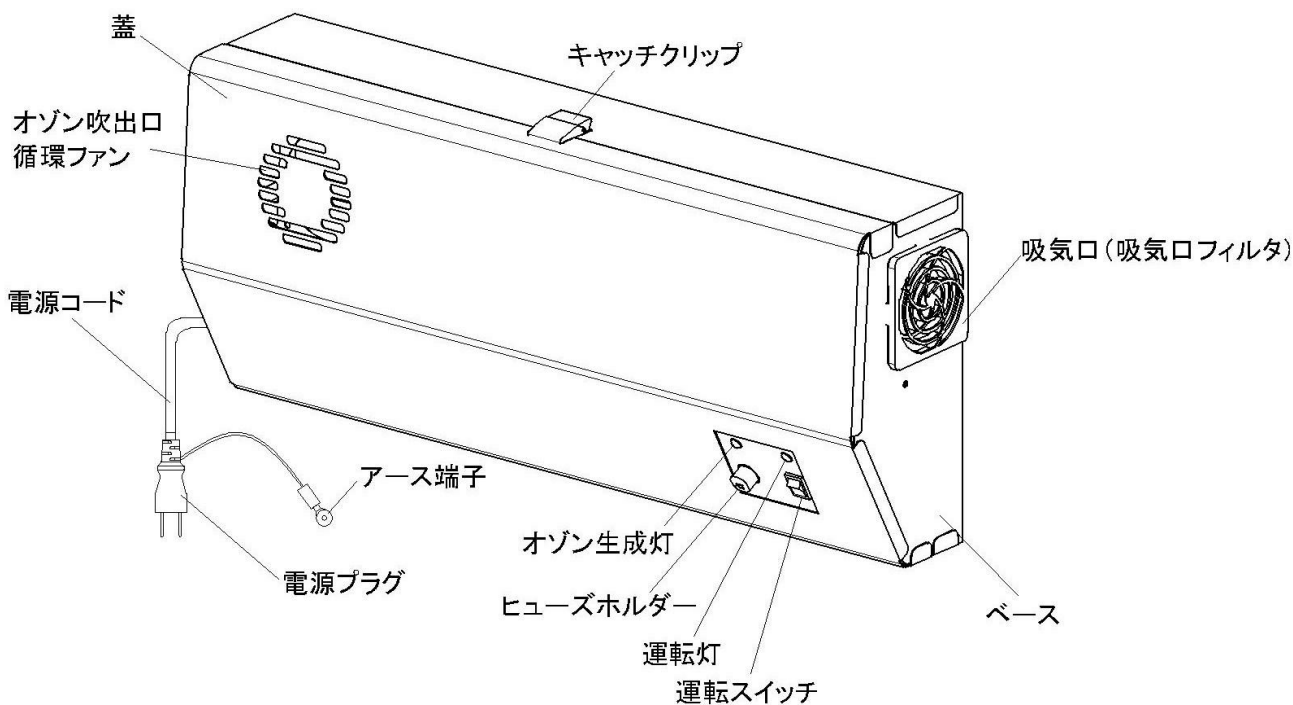
⚠ 注意

その他の注意

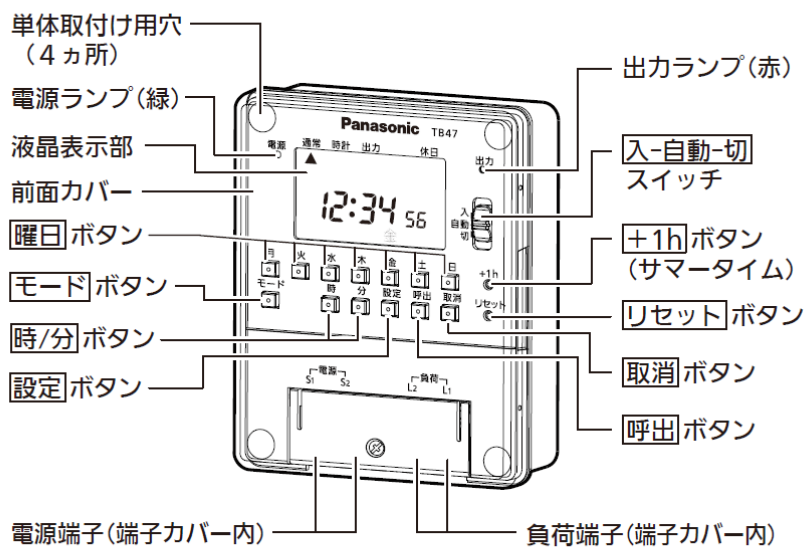
- 機器は室内に設置し、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。
故障・ショート・発火の原因になります。
- 機器の蓋を開ける時や点検、手入れの際には、機器が確実に固定され、ねじのゆるみ等がないか確かめてから行ってください。
落下し、破損やけがのおそれがあります。
- 循環ファン・吸気フィルタを壁面等に密着させないでください。
機器の能力が発揮されません。
- 機器は金属材で仕上げてあります。
開口部・角等は触れたり、指を入れたりしないでください。
けがをするおそれがあります。
- 機器の内部へ故意に水を入れないでください。
電気系統の故障や濡電のおそれがあります。



■名称・各部のなまえ



■オゾン(O₃)ランプ点灯プログラムタイマー操作部



■使用前の準備

■運転開始前の準備と確認



オゾン(O₃)ランプ点灯プログラムタイマーは、午後8時から翌朝午前4時までの点灯に設定されています。作業者の入室がないか確認してください。

オゾン(O₃)は人体に有害で健康に影響を及ぼすおそれがあります。

●オゾン(O₃)ランプ点灯プログラムタイマーの変更設定方法

〔手順〕

- (1) キャッチクリップを外し、蓋を開ける。
- (2) 電源プラグをコンセントに差し込む。
- (3) オゾン(O₃)ランプ点灯時刻を変更設定する。

※ 同梱の「タイムスイッチ取扱・施工説明書」9～10ページ参照。

■使用方法・使い方

■使用方法・使い方

●運転開始

運転スイッチを「ON」にすると運転灯が点灯し、オゾン吹出口の循環ファンが作動し、紫外線(UV)ランプが点灯します。また、オゾン(O₃)ランプ点灯プログラム設定時は、設定時間内のみ、紫外線(UV)ランプが消灯、オゾン(O₃)ランプおよびオゾン生成灯が点灯します。

●運転停止

運転スイッチを「OFF」にすると運転灯が消灯し、オゾン吹出口の循環ファンが停止し、紫外線(UV)ランプが消灯します。また、オゾン(O₃)ランプ点灯プログラム設定時は、設定時間内のみ、オゾン(O₃)ランプおよびオゾン生成灯が消灯します。

※ 紫外線(UV)ランプとオゾン(O₃)ランプの手動切替え方法は同梱の「タイムスイッチ取扱・施工説明書」15ページ参照。

■使用上の注意



オゾン(O₃)ランプ点灯中および消灯後2時間以内は換気処置をしないままでの入室はしないでください。オゾン(O₃)は人体に影響を及ぼすおそれがあります。



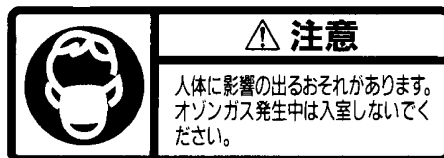
点灯中の紫外線(UV)ランプ、オゾン(O₃)ランプを直視しないでください。目を痛めます。



機器の蓋は操作担当者以外は開けないでください。感電やけがのおそれがあります。

- オゾン(O₃)ランプ点灯プログラムタイマーのプログラムは室内に人のいない時間帯に運転するように設定してください。

- 運転中に入室する際はオゾン(O₃)ランプが点灯していないかどうか確認してください。



- オゾン(O₃)ランプ消灯2時間以内に入室する際には十分室内の換気を行ってください。

- 点灯中の紫外線(UV)ランプ・オゾン(O₃)ランプを吸気口(吸気口フィルタ)側、オゾン吹出口循環ファン側等から覗かないでください。

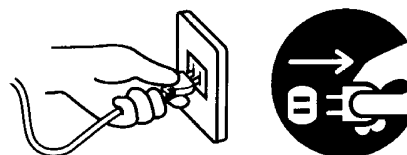


- 蓋を開ける時は決められた操作担当者以外は開けない処置をしてください。



■長時間使用しないとき

- 運転スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

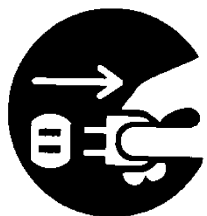


- 休止後、初めて運転する時は、「運転開始前の準備と確認」(6ページ)を参照し、オゾン(O₃)ランプ点灯プログラムタイマーの設定時間を確認してから運転を開始してください。

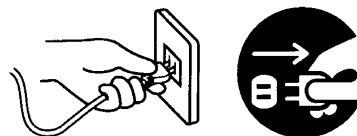
■日常の点検・手入れ

■点検・手入れのときの注意

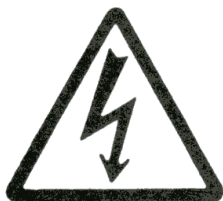
⚠ 注意



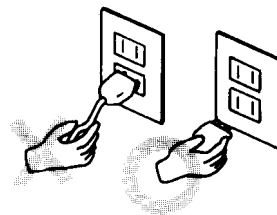
点検・手入れの際は必ず運転スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電やけがのおそれがあります。



⚠ 注意



電源プラグをコンセントから抜く時は、電源コードを持たず、必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。また、濡れた手で抜き差ししないでください。感電やショートして発火することがあります。



⚠ 注意



点検・手入れの際は、機器内のリレー等、電気部品の分解は行わないでください。火災やけがのおそれがあります。



⚠ 注意



機器内部へ故意に水を入れないでください。電気システムの故障や濡電のおそれがあります。



■点検・手入れの必要項目、時期・方法

下記に従って点検・手入れを行ってください。

点検項目	時期	点検・手入れの方法
外部の汚れ	日常	アルコール(ベンジン等)をやわらかい布に浸し汚れを拭き取ってください。
吸気口フィルタ	日常	フィルタの目に付着したほこり等、汚れを水道水で洗浄してください。
タイムスイッチ	日常	乾拭きしてください。
紫外線(UV)ランプ オゾン(O ₃)ランプ	3ヶ月	アルコール(ベンジン等)をやわらかい布に浸し汚れを拭き取ってください。
オゾン吹出口循環ファン	3ヶ月	ファンに付着したほこり等、汚れを乾拭きしてください。
漏電遮断器	3ヶ月	テストボタンを押し、動作を確認してください。
アース	時々	アースが断線していないかを確認してください。

■定期点検

■定期点検のおすすめ

機器を最良の運転状態で末長くご使用いただくためには、取扱説明書に従ったお客様の正しいご使用と、専門家による定期的な保守点検が必要です。1年に1回程度お買い上げまたは、お引渡しの販売店などに点検依頼されることをお奨めします。故障が起きてからの修理では大変な費用と時間がかかり、お客様にご不便をおかけすることになります。そこで保証期間終了後のお客様には、お買い求めまたは、お引渡しの販売店にて保守点検契約のご加入をお奨めしております。ご契約いただきますと割安なご負担で定期的にお伺いして、各部の定期的な保守点検を行い、製品を最良の状態でご使用いただけるようにいたします。ぜひともご契約賜わりたくお願い申し上げます。

また、本書にないお手入れ、調節、修理はご自身では絶対に行わず専門のサービスマンにおまかせくださいますようお願い申し上げます。

■故障・異常の見分け方と処置方法

原因の分からないときや処置の難しいときは、お買い求めの販売店または、お引渡しの販売店にご連絡ください。

現象		原因	処置
運転開始時	運転スイッチを「ON」にしても運転灯が点灯しない。	一次側電源が入っていない。	コンセントに正しく電源プラグが接続されているか確認する。
		機器内部の漏電遮断器が作動していない(作動中は赤色ランプ点灯)。	漏電遮断器のリセットボタンを押す。
	機器に触れると感電する。	アース工事を行っていない。	第三種接地工事(接地抵抗100Ω以下)を行う。
		電気配線接続部(端子台等)に露出している配線がある。	配線図に順じ、線色、端子番号等を正しく接続する。
	運転スイッチを「ON」にしても紫外線(UV)・オゾン(O ₃)ランプが点灯しない。	ランプコネクタの取付けを誤っている。	コネクタをO ₃ 、UV表示シール通り正しく接続する。
		ランプ首部のゆるみ、フィラメント切れ等ランプが破損している。	ランプを交換する。
運転中	漏電遮断器が作動する。	機器内部の配線部に結露等が発生している。	結露発生部等をよく拭き取り、完全に乾燥させる。
		アース工事を行っていない。	第三種接地工事(接地抵抗100Ω以下)を行う。
	紫外線(UV)・オゾン(O ₃)ランプが消える(不点灯)。	漏電遮断器が作動している。	漏電遮断器のリセットボタンを押す。
		ヒューズが切れている。	ランプコネクタを正しく接続する。
		設置場所の環境が合っていない。	室温 0℃～38℃、湿度 85%以下の環境に設置する。
		一次側の電圧が低い。	AC100V ± 10% (90V～110V) 以内の電源に接続する。

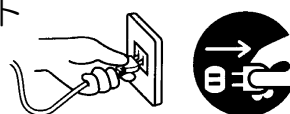
■部品の交換のしかた



部品交換が必要なときおよび修理依頼はお買い上げ・お引渡しの販売店または修理業者にご依頼ください。電気に関する専門的知識を有している操作担当者以外のお客様ご自身での部品交換および修理は危険です。



部品交換および修理は運転スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電ややけどのおそれがあります。

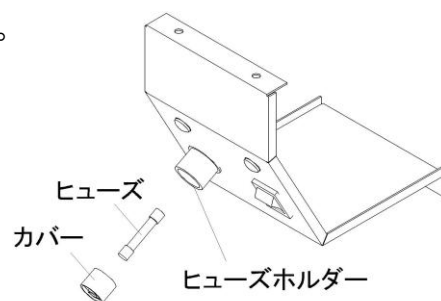


■ヒューズ(3A)

運転スイッチを「OFF」にしてから行ってください。

〔手順〕

- (1)ヒューズホルダーの蓋を開ける。
- (2)ヒューズを交換する。
- (3)ヒューズホルダーの蓋を元に戻す。

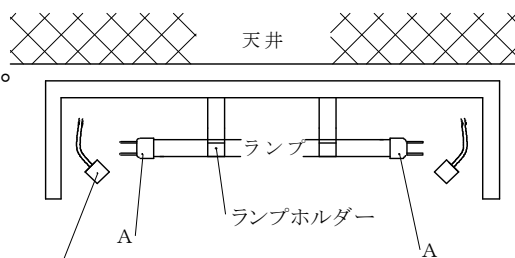


■紫外線(UV)ランプ・オゾン(O₃)ランプ

運転スイッチを「OFF」にしてから行ってください。

〔手順〕

- (1)機器のキャッチクリップを外し蓋を開ける。
- (2)コネクタを外す。
- (3)A部を両手でしっかり持ちゆっくりランプホルダーから外し交換する。
- (4)元どおりに組み付ける。

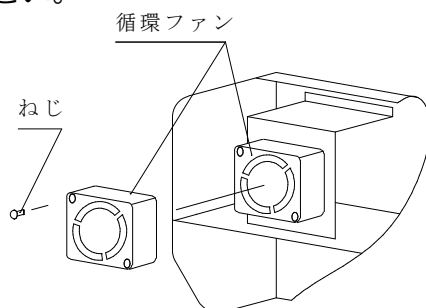


■オゾン吹出口循環ファン

運転スイッチを「OFF」にしてから行ってください。

〔手順〕

- (1)ねじを外し、循環ファンを外す。
- (2)ファンコネクタを外す。
- (3)循環ファンを交換し、コネクタを接続する。
- (4)元どおりに組み付ける。



仕様

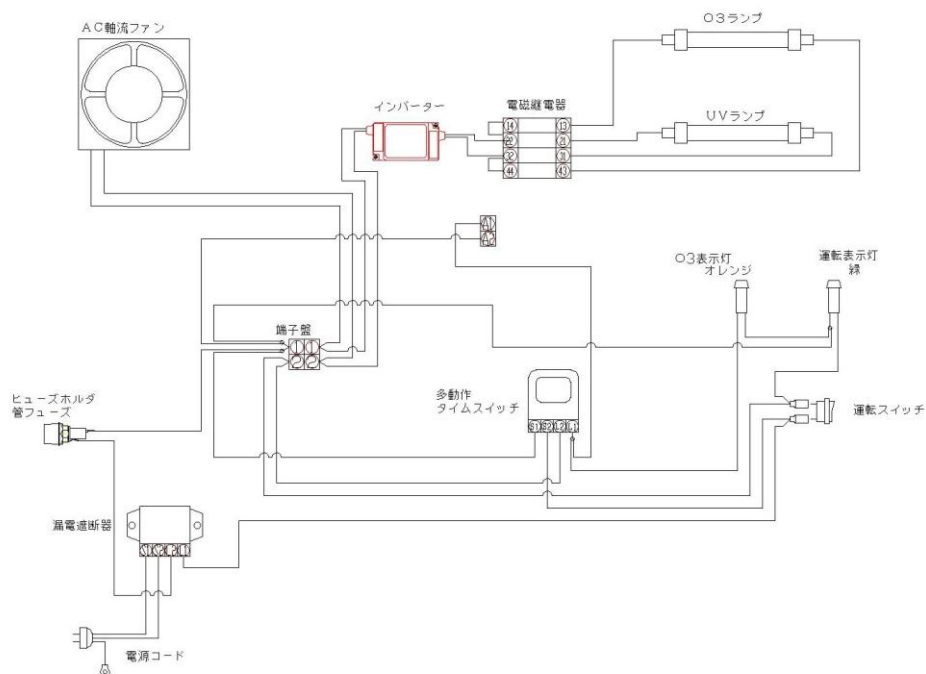
仕様

品目	紫外線照射・オゾン生成器
型式の呼び	TM-38R
定格電圧	単相交流100v 50Hz/60Hz
定格消費電力	32W
本体質量	約5kg
風量	33m ³ /h
ランプ電力	紫外線14.5W/オゾン16W
紫外線照度	1.25mW/cm ² (ランプ表面)
吐出口オゾン濃度	3ppm
ランプ寿命	9000h
電源保護回路	電流ヒューズ筒型3A
漏電保護回路	漏電遮断器 漏洩電流 15mA
処理方式	紫外線・オゾンランプ切替式

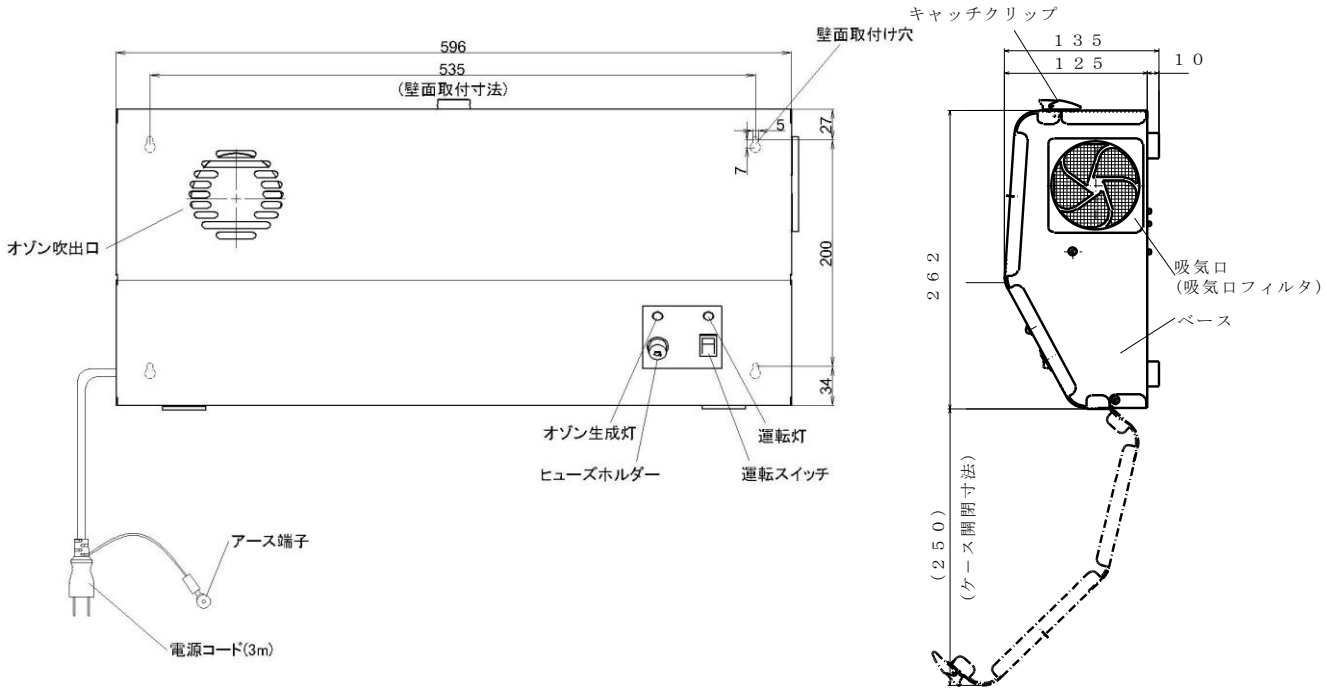
※ 使用環境により異なることがあります。

※ ランプの寿命については、連続点灯時であり使用頻度・環境により短くなる場合があります。

電気配線図



■外形寸法



■据 付 け



据付け工事の確認と試運転は、お引渡しの販売店または電気に関する専門的知識を有している工事・操作担当者立会いのもとに行ってください。

■据付け工事後の確認

機器の取付け	<ul style="list-style-type: none">●機器取付け面は、製品重量以上の重さに耐えられますか。●保守・点検用スペースとして機器の周囲に空間スペースが設けられていますか。●機器に直接風雨や結露水が付着しない場所ですか。
電気配線	<ul style="list-style-type: none">●コンセントは雨水・結露水が付着しない位置に取り付けられていますか。●アース工事がされていますか。

■試運転

●運転準備

「運転開始前の準備と確認」(6ページ)の〔手順〕を行ってください。

●試運転

〔手順〕

- (1) 運転スイッチを「ON」にし、紫外線(UV)ランプおよび運転灯の点灯を確認する。
- (2) オゾン(O₃)ランプ点灯プログラムタイマーの「入-自動-切」スイッチを「入」にし、オゾン(O₃)ランプおよびオゾン生成灯の点灯を確認する。
※ 同梱の「タイムスイッチ取扱・施工説明書」15ページ参照。
- (3) 運転スイッチを「OFF」にし、紫外線(UV)ランプおよび運転灯の消灯を確認する。

〔Ⅱ〕 工事編

工事説明書 (施行者用)

はじめに

設置工事には電気に関する専門の知識と技能が必要です。移設等の設置工事を行う必要がある場合、お買い上げまたは、お引渡しの販売店にご相談ください。

■特に注意していただきたいこと。安全のために必ずお守りください。

警告

取付け場所

機器取付け面は、製品重量以上の重さに耐えられるよう、補強する等、適切な処置をして取り付けてください。

落下し、けがのおそれがあります。



その他の事項

●電源は必ず単相 100V を使用してください。

絶対に 200V を使用しないでください。

故障、火災、感電の原因になります。

●接地(アース)の第三種接地工事(接地抵抗 100Ω 以下)を必ず行ってください。

故障、火災、感電の原因になります。



注意

直接風雨や結露水が付着しない場所に設置してください。故障や漏電のおそれがあります。



■開 梱

■開 梱

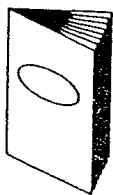


梱包箱、保護材等の処理を確実に行ってください。
お子様が使って遊んだりすると危険です。

■附属部品の確認

番号	附属部品	個数
1	取扱説明書	1
2	タイムスイッチ 取扱・施工説明書	1
3	保証書	1
4	丸木ねじ	4

1 取扱説明書



2 タイムスイッチ取扱・施工説明書



3 保証書



4 丸木ねじ



■据付け

■据付け場所の選定・据付け前に



機器を取り付ける場所は電気工事等の行える場所で、次の項目をよく吟味してから決めてください。

警告

- 湿気やほこりの少ない場所かどうか。

機器は、室内の湿気やほこりの少ない場所に設置してください。

機器は、室温0℃～38℃、湿度85%以下の環境に設置してください。



- 機器の重量を十分支えられるかどうか。

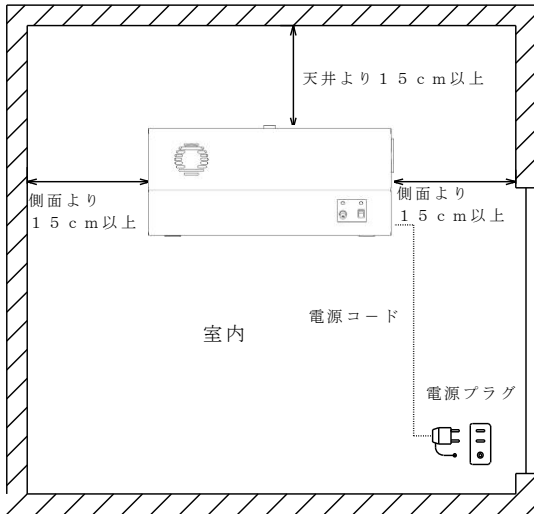
機器の取付け面は、製品重量以上の重さに耐えられる場所に据え付けてください。弱い場合は補強する等、適切な処置をして取り付けてください。



- 吸気口(吸気口フィルタ)・オゾン吹出口循環ファンと壁面等の距離が10cm以上離れた場所に取り付けてください。密着していると機器の性能が発揮されません。



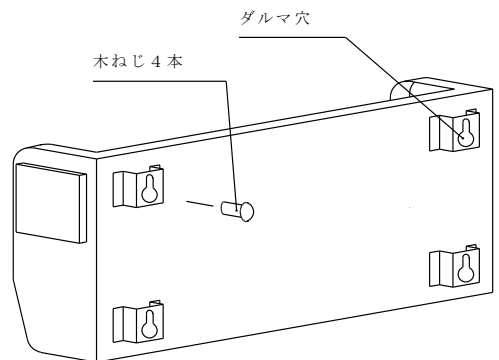
■標準据付け例



- 機器は室内(屋内)の壁面などに取り付けてください。
- 機器・電源プラグは室外(屋内)の雨水のかからない湿気の少ない場所に取り付けてください。
- 機器は室温0℃~38℃、湿度85%以下の環境に取り付けてください。

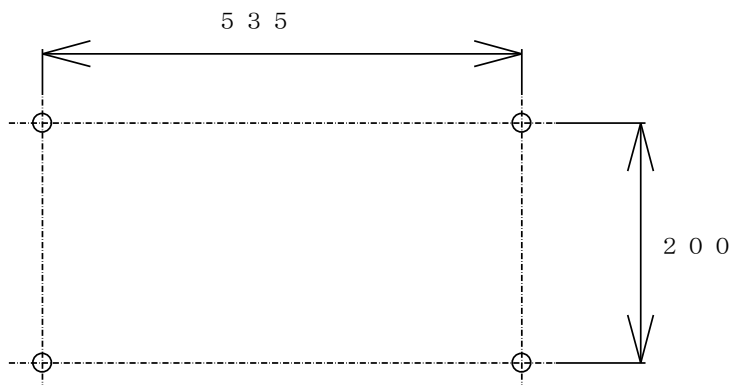
■機器の取付け

- (1) 取付案内図に基づきあらかじめ木ねじ4本を約3mm程度浮かせてねじ込んでおく。
- (2) キャッチクリップを外し蓋を開ける。
- (3) ベースダルマ穴に木ねじを合わせ下に7mm程度ずらす。
- (4) 木ねじをしっかりと締め付ける。
- (5) 元どおりに蓋をする。



■取付案内図(単位：mm)

木ねじ位置(4本)



■電気配線



電源コンセントは、雨や水が当たらず、足を引っ掛けたりしない位置であること。適切な位置であること。適切な位置にコンセントがない場合は、電気配線を電力会社の指定工事店に依頼し、所定の配線をしてください。
感電したり、歩行時に引っ掛けるなど危険です。

電 源

電源は単相 100V です。

電圧変動時の注意

電圧が変動しますと、性能が低下したり、制御部が誤作動を起こす場合がありますので、漏電遮断器の取り付けられた専用のコンセントを設けてください。運転時電圧が 90V 以下および 110V を超える場合は、電力会社の指定工事店に依頼し対策をしてください。

電源周波数の確認

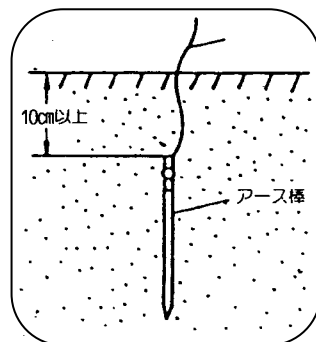
この製品は、電源周波数 50Hz または 60Hz 専用です。

接地(アース)工事



第三種接地工事(接地抵抗 100Ω以下)を必ず行ってください。
漏電時、感電やけがのおそれがあります。

- アース棒は日当たりの悪い湿気の多い場所に打ち込んでください。
- アース棒は地中深さ 10cm 以上の穴を掘り、穴の底に打ち込んでください。
- 水道管やガス管への接続、および他器具のアースとの共用は絶対にしないでください。
- 工事完了後、アーステスターで接地抵抗が 100Ω 以下であることを確認してください。



■保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は
まず、お買上げの販売店へ
お申し付けください。

■保証書

必ず、お買上げの販売店からお買上げ日・販売店名などの記入をお確かめの上、受け取り、よくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間—お買上げ日から1年

■修理を依頼されるとき

11ページの表にしたがってご確認の後、直らない場合は、電源プラグを抜いてお買上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、修理させていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

注) 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

販売店	TEL ()-
-----	----------

2026:01

製造元 **株式会社 タムラテコ**